

東日本大震災 医療ボランティア報告会

～医療現場を中心に～



阪神淡路大震災の地から私たちに何ができるか。

なかなか行動に移すことができず悩んでいる人も多いと思います。

今回は、AMDAの医療支援で被災地に入った医療従事者の方々の報告を聞いて、特に医療支援から考えるためのヒントを見つけます。

これからボランティアに参加される方、自分で何ができるか考えている方、興味のある方はどなたでもどうぞご参加ください。

日時：2011年4月9日（土） 午前10時半～12時半（開場午前10時）

場所：ひょうごボランティアプラザ セミナー室

神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6F

（JR神戸駅徒歩3分） TEL 078-360-8845

定員：70名（先着順）

事前申し込み：不要

参加費：無料



報告者1：桂木聡子さん（AMDA第6次派遣隊釜石市・大槌町）
薬剤師、兵庫医療大学講師、AMDAの活動以外にもJICA研修生や
外国人留学生の日本語支援や生活支援もされています。

報告者2：鈴記好博さん（AMDA第4次派遣隊仙台市・第14次派遣隊大槌町）
医師、北淡診療所、AMDAネパール子ども病院を支援されています。

報告者3：早瀬麻子さん（AMDA第6次派遣隊釜石市・大槌町）
助産師、大阪大学大学院生、AMDAネパール子ども病院での医療ボランティア経験をお
持ちです。

主催：医療通訳研究会（MEDINT）

お問い合わせは <http://medint.jp>

共催：AMDA兵庫県支部